

## W3C

JJ1SXA/池

ホームページを初めて作成した時、大した知識も無いのに、ホームページビルダー等のソフトを使わず(ソフトを買うお金が勿体なかったhi)、HTMLでソースを書いて作成したが、<head>部分は他のホームページのソースをほとんど丸写しで流用させてもらった。

<head>内に、「W3C」の文字があったが意味も分からずそのまま使っていた、恥ずかしながら、「W3C」はアメリカのハムのコールサインか？などと、全くとんちんかんな解釈しかできていなかったのだ。

時を経て、「W3C」は、「World Wide Web Consortium」の略だと知った、W3はハムのプリフィックスでは無く、World Wide Webのことだったのだ、時効ながら一人赤面ものだった。

前置きが長くなったが、今回はこの「World Wide Web Consortium」について書いてみたいと思い再勉強しました、例により備忘録が記事です。

W3C(World Wide Web Consortium)は、インターネット上の情報とコミュニケーション技術の標準化を推進する組織で、1994年にティム・バーナーズ＝リーによって設立された非営利団体です。

ウェブ技術の発展を支援し、異なるプラットフォームとブラウザ間での互換性を確保するためと、Webの開発と品質を向上させるために、HTML、CSS、XHTML、XMLなどの仕様を公開しています。

これにより、ユーザーが異なるデバイスやブラウザでウェブコンテンツを一貫して表示及び操作ができるようになります。

W3Cは、企業や団体が会員として加入し、専任スタッフと共にWorld Wide Webの標準策定を行っています。

一寸古い記録になりますが、2022年1月8日現在、456の組織が会員として加入しているようです。

紙面が大きく余ったので、ホームページを作成した時、苦労しながら勉強したことを書き留めます(今まで書き留めていなかった)。

先ずは何と言っても、**HTML**、Hyper Text Markup Languageの略で、マークアップ言語の一つです、マークアップとは、文章の構成や役割を示すことを意味し、HTMLはWebサイトを作成する際に、コンピューターへ構成指示を出し、表示したい文章や写真などの情報を形作ります。

次は、**CSS**、Cascading Style Sheetsの略で、Webサイトのサイズや色、レイアウトなどを設定するためのプログラミング言語で、CSSは「シーエスエス」や「スタイルシート」などと呼ばれており、背景の色の変更や画像の設置、文字のフォントや色などの幅広いデザインを定義する際に使用されます。

その後は、**JavaScript**、動的なWebページを作成する事のできるプログラミング言語で、通常はブラウザ上で実行されます…と、いうことだが、どれもこれも未だに使いこなせていない、パソコンに触り始めたのは還暦を過ぎていたからなあと自己弁護、とはいうものの、最初の頃より少しは進歩しているかな？  
(2023年9月記)